

令和2年度下半期 水道事業・下水道事業の経営状況

(令和2年10月1日～3年3月31日)

水道事業・下水道事業は、複式簿記による公営企業会計で収支を管理しています。

経営状況は、表1～3のとおりです。

なお、複式簿記とは、ひとつの取り引きを原因と結果の二面から記録する会計方法です。下水道事業は、令和2年度に特別会計から企業会計に変更されました。

水道事業

水道事業計画で定めた、「安全な水道」、「災害時にも頼れる水道」、「持続可能な水道」を目標に、水質検査機器の買い換えや、災害時対応計画の策定を行いました。また、前年度に引き続き、深層地下水流動調査を実施しました。

企業債については、新たな借入金はなく、償還金781万円(利息を含む)を支払いました。

☆詳しくは、水道部業務課 ☎61111へ。

下水道事業

下水道の役割は、汚水の処理、雨水の処理、公共用水域の水質保全です。今後も下水道事業を安定的に継続していくため、下水道施設の長寿命化に向けた改

築更新の工事などを実施しました。

企業債については、1億2060万円を借り入れ、償還金3億151万円(利息を含む)を支払いました。

☆詳しくは、下水道課へ。

表1 水道事業・下水道事業の利用人口と有収水量

	2年度	元年度	前年度比
水道事業	給水人口	11万3541人	11万3609人 △68人(0.1%減)
	給水世帯	5万5271世帯	5万4668世帯 603世帯(1.1%増)
	有収水量	618万14m ³	601万7700m ³ 16万2314m ³ (2.7%増)
	配水量	641万2750m ³	628万2870m ³ 12万9880m ³ (2.1%増)
下水道事業	接続人口	11万2803人	
	接続世帯	5万4917世帯	
	有収水量	789万9638m ³	

※有収水量とは、料金徴収の対象となる水量のことです。

表2 企業債(借入金)の現在高

	3年3月末	2年3月末	前年度比
水道事業	現在高(元金)	711万円	2168万円 △1457万円(67.2%減)
	給水人口1人当たり	63円	191円 △128円(67.0%減)
下水道事業	現在高(元金)	43億1298万円	
	接続人口1人当たり	3万8235円	

※企業債とは、施設の建設や改良のために借り入れるお金のことです。

表3 経理の状況(消費税抜き)

	収益的収支		資本的収支	
	収入	支出	収入	支出
水道事業	*営業収益 8億2441万円 水道料金による給水の収益など	*営業費用 10億4964万円 原水及び浄水費、配水及び給水費、設備修繕費、減価償却費など	*負担金 1243万円 工事経費のうち市や企業が負担する分など	*建設改良費 7億3578万円 水道を安定して使用するための工事(長寿命化、耐震化)などの費用
	*営業外収益 8123万円 預金利息、下水道使用料受託徴収収益など	*営業外費用 63万円 企業債の借り入れ利息など		*企業債償還金 739万円 企業債の元金
	*特別利益 1392万円 退職給付引当金戻入			*投資、その他資産 9901万円 国債
	合計 9億1956万円	合計 10億5027万円	合計 1243万円	合計 8億4218万円
下水道事業	*営業収益 9億8935万円 下水道使用料、雨水処理負担金など	*営業費用 17億5714万円 下水道管などの維持費、汚水の処理負担金、減価償却費など	*企業債 1億2060万円	*建設改良費 2億6923万円 下水道を安定して使用するための工事(長寿命化、耐震化)などの費用
	*営業外収益 5億5332万円 預金利息、一般会計補助金、長期前受金戻入など	*営業外費用 7914万円 企業債の借り入れ利息など	*他会計補助金 1億7191万円 一般会計補助金など	*企業債償還金 2億7740万円 企業債の元金
	*特別利益 191万円 過年度損益修正益	*特別損失 △1031万円 消費税、地方消費税の還付	*負担金 17万円 受益者負担金	*投資その他資産 214万円 基金積立金
	合計 15億4458万円	合計 18億2597万円	合計 3億1421万円	合計 5億4877万円

※収益的収支とは、水道料金・下水道使用料による収入や、水道・下水道の安全な利用に必要な経費のことです。

※資本的収支とは、施設の改良・設置のために必要な経費のことです。